

## 第1回 米子・境港間の高規格道路 地元懇談会(要約)

日時:10月13日(水) 10:00~11:30

委員:鳥取大学工学部 桑野教授、米子商工会議所 長谷川事務局長、境港商工会議所 庄司事務局長、米子日吉津商工会 小川事務局長、米子市観光協会 石倉事務局長、境港観光協会 古橋事務局長、鳥取県県土整備部 森田部長、鳥取県西部総合事務所 吉村所長、米子市都市整備部 隠樹部長、境港市建設部 灘部長、日吉津村建設産業課 益田課長、境港管理組合 小西事務局長

### 要望概要

#### ●開会挨拶

##### 【鳥取県県土整備部 森田部長】

- ・米子・境港間の高規格道路は、地域のポテンシャルを引き出すための道路、また地域の発展を支えるための道路として非常に期待されており、さらには、地震や原子力防災というような防災安全上の大きな役割も期待されている。
- ・本懇談会では、これまで行政レベルで検討してきた課題や必要性を地域の皆様と議論し、住民の皆様のご意見やご要望を伺って、この道路に対する期待や思いを取りまとめたい。この懇談会が米子・境港間の高規格道路の実現に向けた大きな第一歩となることを期待している。

#### ●規約、座長選出

- ・規約が承認され、桑野教授が座長に選出された。

#### ●米子・境港間の高規格道路の現状と課題について意見交換(主な意見)

##### 【産業振興、観光産業への活用】

- ・米子・境港間の道路は生活道路となっており、物流の活性化や観光振興は非常に難しいのが現状。
- ・近年は境港市の港湾・漁港・空港の機能は強化されており、境港で水揚げされた鮮魚は8割以上がトラック輸送で県外へと運ばれていくなど、米子から境港間の道路は物流面でも交通需要が高い。
- ・境港から王子製紙への原料の輸送は、渋滞等を緩和するために企業の自主努力で迂回し輸送を行っている。高規格道路が整備されれば、交通事故の防止、渋滞の緩和、ドライバーの長時間労働の削減等にも繋がるので地元経済界としても望む声大きい。
- ・企業は品質向上等で努力しているが物流は自助努力だけでは解決できない。納期や価格で他の地域と競争するためにも高規格道路は必要不可欠である。
- ・地域の商工会が一つになって地域ブランドを立ち上げ地域活性化に取り組んでいる。高規格道路を利用して誘客・着地型消費促進を行い地域が潤うことが重要。
- ・観光客の7割8割はマイカーで訪れるため、中海圏域のキラークンテンツである水木しげるロード、松江城、出雲大社の周遊時間の短縮を期待している。中海圏域をぐるりと回る移動時間の短縮をかなり求められている。
- ・高規格道路整備により水産物が早く、遠くの地域まで届けられれば境港の知名度が上がり、観光にも繋がると思う。
- ・日吉津村には製紙工場などヘビーユーザーもあり、交通関係でも見えるような形で国道431号の渋滞が解消されるなどの効果が示されれば理解が得やすいと思う。
- ・港湾計画改訂に伴って港湾機能が整備されれば、大型船が入港し観光客が倍増すると考えており、こういう展望といったものも盛り込みながら、道路整備の必要性をアピールしてほしい。
- ・他の観光地との競合には圏域で戦っていく必要があり、圏域内の周遊性を高めることは非常に大事だと思っている。
- ・鳥取西道路が整備され県内東西の移動は時間的にも短くなったが、感覚的な距離も非常に短くなったと感じてい

る。信号やカーブが少なく感覚的な距離が短くなる高規格道路は米子・境港間の物流や観光の活性化に繋がると思う。

- ・高規格道路整備により定時性が確保され、時間が計算できるようになれば観光面、物流面から非常に効果大きい。

#### 【防災・減災における重要性】

- ・境港市は島根原発から近く、有事の際の避難道路としても高規格道路が必要だと思う。
- ・西日本豪雨で岡山県に水害が発生し伯備線のJR貨物が動かなかった時には、境港から物資を運搬したこともあり、物流の面でのリスクヘッジ、リスク分散という意味でも非常に大事な道路と考えている。

#### 【道路整備における課題と効果発現のための取組】

- ・渋滞解消のためには高規格道路の整備も必要だが、高規格道路にアクセスする県道や市道等の整備が必要である。将来的なことも考慮し、高規格道路は当初から片側2車線で検討してほしい。
- ・米子インターを下りてからの道路はかなり渋滞している。コロナが収束した後はマイカーが多くなるはずで、渋滞が解消される高規格道路の整備について期待しているし一緒に考えていきたい。
- ・高規格道路の議論が進むことで物流面への投資が呼び込め、地域の活性化が期待できる。
- ・これまでは行政だけで議論していたが、経済界や観光界の方も一緒に議論が出来る状況になり感動している。
- ・地域や圏域の発展を考えると非常に良い道路だと思うが、米子市をただ通過し、都会に人や物が流出していく(ストロー効果)道路となつてはいけないと思う。米子市にも一定のメリットがあることを示さないと、得られる賛同も少なくなると思う。
- ・この道路を整備する場合、ルートとして米子市を通過する延長が非常に長いため、今後いろいろ議論をしていかなければならない。
- ・道路がもたらす価値を見える化して発信し共有することで、地元の機運も盛り上がると思う。
- ・高規格道路の整備は圏域の活性化に大きな影響をもたらすと考えており、検討を重ね地域住民の皆様にご理解をいただけるように説明していく必要があると思う。
- ・トラックドライバー不足や高齢化、人口減少、災害という面で海上輸送が今後重要視されてくるとわれ、境港の背後圏域の道路ネットワークは重要となる。

#### 【まとめ】

- ・米子から境港間の道路では、通過交通と生活交通が混在している状況で、そこに高規格道路が整備されると産業と住民の生活交通が分離できて、産業の発展や住民の安心安全に繋がる。
- ・物流や観光では、定時性や時間信頼性を担保していくことが重要であり、そのためには高規格道路や周辺の整備を一緒に考えるべき。
- ・道路の価値を真に問うという意味においては、高規格道路整備により発生する用地の問題やストロー効果などのマイナス面も今後議論していく必要がある。

#### 【その他】

- ・第1回アンケートを11月1日から2週間、米子市、境港市、日吉津村の住民の方、道路利用者を対象に実施する。
- ・11月13日(土)と14日(日)にイオンモール日吉津でオープンハウスを実施し、皆様のご意見を聴取する。
- ・警察、消防、医療、トラック協会などにもヒアリングを行い幅広く意見を聴取する。
- ・アンケート結果がまとまり次第、第2回地元懇談会を開催し、アンケート結果や地域の課題解決に向けた米子・境港間の高規格道路の検討について議論したい。